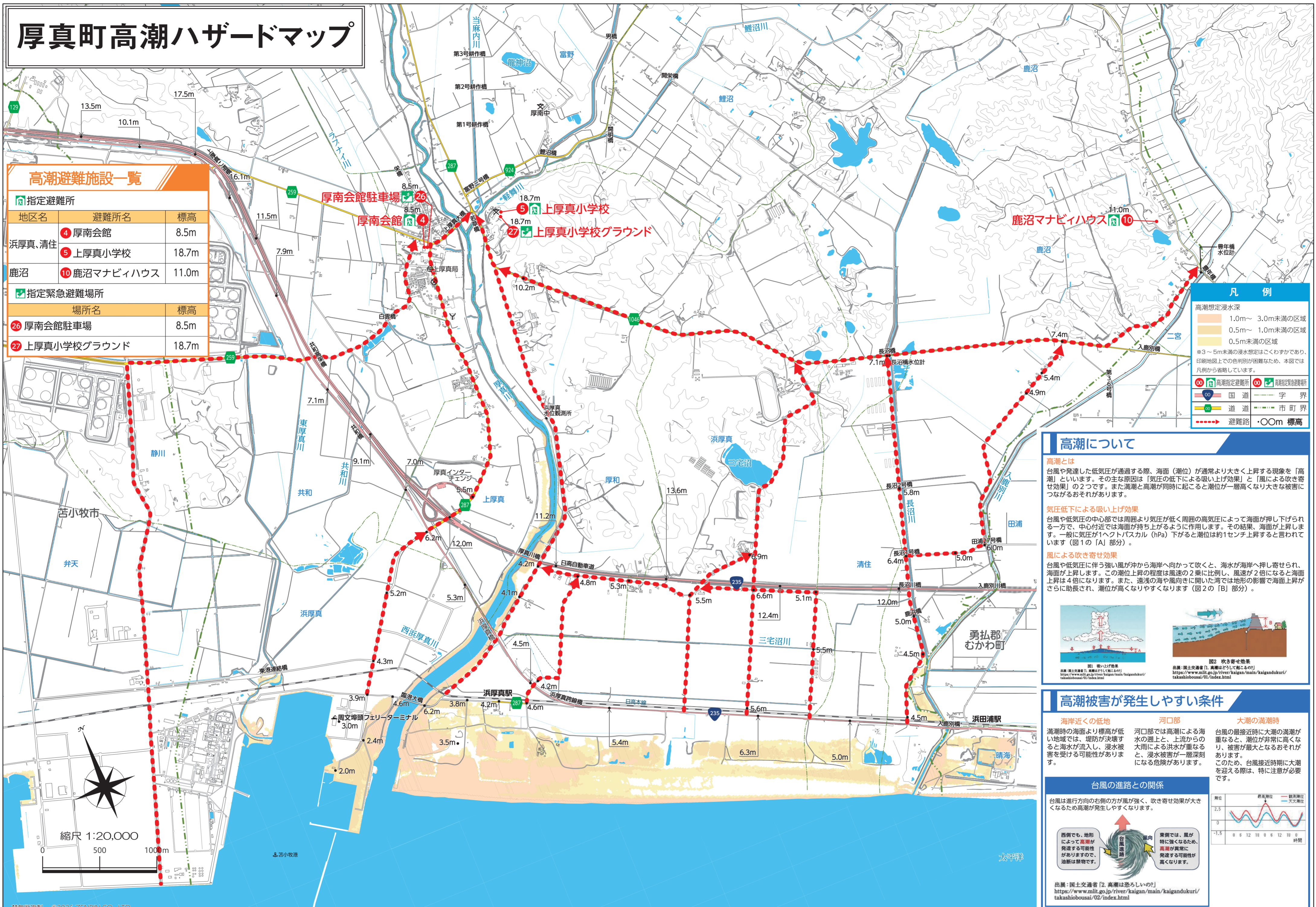


厚真町高潮ハザードマップ

高潮避難施設一覧

指定避難所		
地区名	避難所名	標高
浜厚真、清住	④ 厚南会館	8.5m
	⑤ 上厚真小学校	18.7m
鹿沼	⑩ 鹿沼マナビィハウス	11.0m

指定緊急避難場所		
場所名	標高	
②⑥ 厚南会館駐車場	8.5m	
②⑦ 上厚真小学校グラウンド	18.7m	



凡例

- 高潮想定浸水深
 - 1.0m～ 3.0m未満の区域
 - 0.5m～ 1.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
- *3～5m未満の浸水想定はごくわずかであり、印刷地図上での色判別が困難なため、本図では凡例から省略しています。
- 指定避難所 (建物)
- 指定緊急避難場所
- 国道
- 道道
- 市町界
- 避難路
- 標高

高潮について

高潮とは
台風や発達した低気圧が通過する際、海面(潮位)が通常より大きく上昇する現象を「高潮」といいます。その主な原因は「気圧の低下による吸い上げ効果」と「風による吹き寄せ効果」の2つです。また満潮と高潮が同時に起こると潮位が一層高くなり大きな被害につながるおそれがあります。

気圧低下による吸い上げ効果
台風や低気圧の中心部では周囲より気圧が低く周囲の高気圧によって海面が押し下げられる一方で、中心付近では海面が持ち上がるように作用します。その結果、海面が上昇します。一般に気圧が1ヘクトパスカル(hPa)下がると潮位は約1センチ上昇すると言われています(図1の「A」部分)。

風による吹き寄せ効果
台風や低気圧に伴う強い風が沖から海岸へ向かって吹くと、海水が海岸へ押し寄せられ、海面が上昇します。この潮位上昇の程度は風速の2乗に比例し、風速が2倍になると海面上昇は4倍になります。また、浅瀬の海や風向きに開いた湾では地形の影響で海面上昇がさらに助長され、潮位が高くなりやすくなります(図2の「B」部分)。

出典: 国土交通省「2. 高潮は恐ろしいのか?」
https://www.mlit.go.jp/river/kaigan/main/kaigandukuri/takashiobousai/02/index.html

高潮被害が発生しやすい条件

海岸近くの低地
満潮時の海面より標高が低い地域では、堤防が決壊すると海水が流入し、浸水被害を受ける可能性があります。

河口部
河口部では高潮による海水の遡上と、上流からの大雨による洪水が重なると、被害が最大となるとおそれられます。

大潮の満潮時
台風の最接近時に大潮の満潮が重なると、潮位が非常に高くなり、被害が最大となるとおそれられます。このため、台風接近時に大潮を迎える際は、特に注意が必要です。

台風の進路との関係
台風は進行方向の右側の方が風が強く、吹き寄せ効果が大きくなるため高潮が発生しやすくなります。

出典: 国土交通省「2. 高潮は恐ろしいのか?」
https://www.mlit.go.jp/river/kaigan/main/kaigandukuri/takashiobousai/02/index.html

この地図は、厚真町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1の都市計画図を使用し、調製したものである。(承認番号 令和4年6月22日 厚都計号) 「この地図の作成に当たっては、北海道知事の承認を得て、北海道作成の森林基本図を使用した。(承認番号 令和4年1月11日森林第457号)」 「JIS Z8210 津波避難場所 避難所(建物)」 このハザードマップで使用されている住宅地図は、令和4年度の調査に基づき作成されたものです。(一部地域除く)